

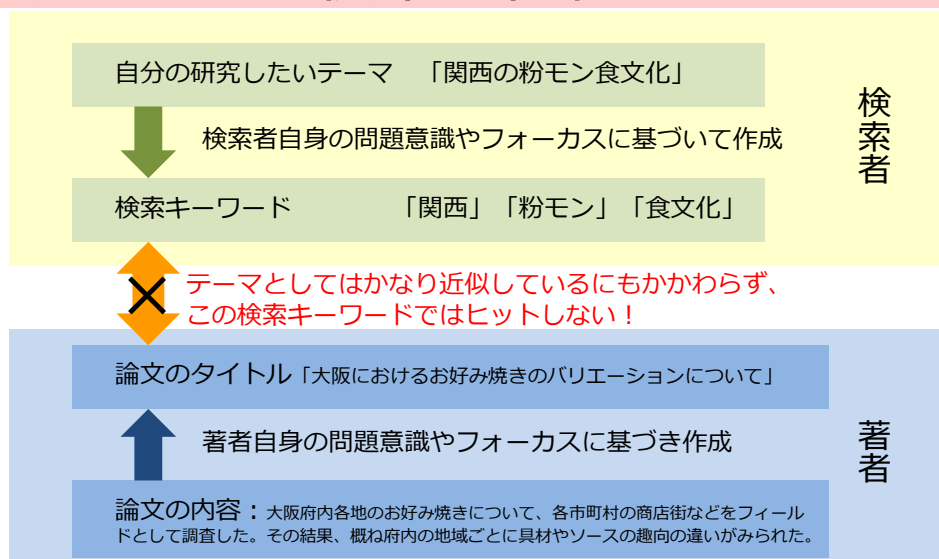
補遺： シソーラスを備えた データベース



ここでは補遺として、シソーラスを備えたデータベースについて紹介します。

シソーラスとは、見出し語と、見出し語同士の関係がセットになった辞書のようなものだと思います。シソーラスを搭載したデータベースにおいては、収録している文献に書かれた言葉も、私たちが検索に使う言葉も、シソーラス内の見出し語に紐づけられ、検索のマッチング率が高まるような設計がなされています。

シソーラスの無いデータベースの キーワード検索の仕組み

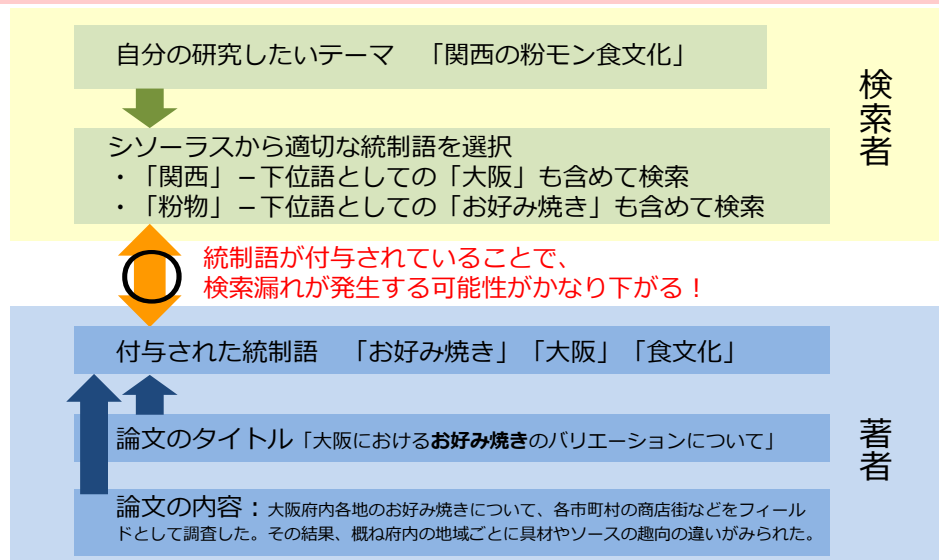


まず、教材の本編でも紹介しました、CiNii Researchなどシソーラスの無いデータベースについてです。

キーワードと論文のタイトル等が完全に一致しないとヒットしない、というお話をしました。

こちらの例をご覧ください。「関西」というキーワードでは「大阪」というタイトルがヒットしない、「粉モン」というキーワードでは「お好み焼き」がヒットしない、ということが起こっていますね。

シソーラスのあるデータベースの 統制語検索の仕組み



一方で、シソーラスのあるデータベースではどうでしょうか。

シソーラスの整備された文献データベースでは、各文献に対して、統一されたタグ＝「統制語」が付与されています。

定められた基準に基づいて、同じテーマを扱う文献には同じ「統制語」が付与されます。

1つの論文のテーマが多面的にとらえられることもよくあるので、その場合は、複数の「統制語」が付与されます。

このようにルール付けされた統制語があれば、その統制語を用いることで、漏れなく検索することができます。

よく整備されたシソーラスのあるデータベースならば、下位語までまとめて検索したりできて大変便利です。

シソーラスを備えたデータベースを利用するメリット

検索漏れが発生しづらくなる

概念ごとに使用することばを決めているので、同義語・類義語を検討する必要がない
下位語を含んだ検索が可能なデータベースも多い

【注意点】 検索に使用する統制語を選択するのは自分

統制語の選択を用心して行わないと、シソーラスのメリットを発揮できない

先行研究調査はできるだけ「漏れなく」検索したいので、
シソーラスを備えたデータベースを使うのがおすすめ

シソーラスを備えたデータベースを利用するメリットは、検索漏れが発生しづらくなることです。

同じテーマの論文には同じ統制語が付与されているため、講習会の本編で行ったような同義語・類義語を検討する必要がありません。

先の例のように、下記語を含んだ検索が可能なデータベースも多いです。

注意点としては、検索に使用する統制語を選ぶのは自分だということです。

シソーラスの統制語リストを良く見渡して、どの統制語を選ぶか、ということを用心して行わないと検索漏れが起きてしまう恐れがあります。

こういった注意点はありますが、先行研究調査はできるだけ「漏れなく」行うことを目指していますので、

自分の専門分野にシソーラスを備えたデータベースがあるならば、それを使うことがおすすめです。

シソーラスを備えたデータベースの例

日本語論文のデータベース

J-Dream III（自然科学・工学）、医中誌web（医学）

日本語論文のデータベースでは残念ながら、CiNii Researchなどシソーラスを備えていないデータベースがほとんど

海外論文のデータベース

特定分野型のデータベースはシソーラスを備えているものが多い
シソーラスの付与の精度はさまざま

新しく文献データベースを使い始めるときには、
シソーラスを備えたデータベースかどうか確認してみるのがオススメです



それでは具体的に、シソーラスを備えたデータベースを紹介しましょう。

まず、日本語論文のデータベースです。自然科学・工学分野のJ-DreamIII、医学系の医中誌webが挙げられます。

残念ながら、日本語論文のデータベースは、シソーラスの無いデータベースがほとんどです。

一方で、海外論文のデータベースについて、特定分野型のデータベースであれば、シソーラスを備えているものが多いです。

新しい文献データベースを使い始めるときは、シソーラスを備えたデータベースかどうかを確認してみて、シソーラスがあればぜひ有効活用しましょう。